

【緊急署名】 都立板橋高校 藤田先生を救おう！

- 日の丸・君が代強制問題がまさかの刑事事件（威力業務妨害罪）に -

都立板橋高校の元教員の藤田勝久さん(63歳)が、警察から不当な家宅捜索を受け、警察署への呼び出しを受けています。逮捕される可能性もあるという切迫した状況にあります。わたしたちは、藤田さんへの不当な捜査を一刻も早く止めさせ、絶対に逮捕をさせないために、市民の声を警察に届けるための署名活動を行っています。ぜひご協力ください。

東京都教育委員会は、昨年、各公立学校に異例の通達を出し、卒業式などで日の丸を掲げ、君が代を起立して斉唱するように「指導」してきました。この通達に多くの良識ある教員・市民は反対し、マスコミも異常事態であると問題視してきました。

今年3月11日、藤田さんは、東京都板橋区にある都立板橋高校の卒業式に来賓として出席しました。藤田さんは3年前に卒業生の生活指導担当についており、卒業生から親しまれていました。式の開始前に、藤田さんは、日の丸君が代問題の特集した週刊誌「サンデー毎日」の記事を保護者に配布して、卒業式の状況を簡単に説明しました。ところが、その説明の後、学校の教頭、校長からそれぞれ「止める」「退去せよ」と言われました。そのため、藤田さんはまったく混乱を生じさせることなく校長の指示に従い、会場から退出しました。

しかし、その後、卒業式会場から退出する際に混乱が生じたとして、学校と都教育委員会は警察に被害届を出しました。罪名はなんと「威力業務妨害罪」。藤田さんが卒業式を妨害したというのです。

板橋警察署は、5月21日早朝、藤田さん宅の家宅捜索を行いました。また、警察署へ出頭せよと数次にわたって呼び出しをかけています。また、本人や弁護団に対しては、逮捕もありうるとほめかしております。

藤田さんはまったく「威力」を用いていないし、卒業式は「妨害」されてもいません。ではどうして、警察が捜査をしているのか？ わたしたちは、この刑事事件の本質は、日の丸君が代の強制に対して異議を唱えた者に対する制裁・嫌がらせであると考えます。日の丸君が代の押し付けによって、学校現場ではすでに教員や児童・生徒の良心の自由が侵害されていますが、今後は、藤田さんのように一般市民にまで被害が広がっていきかねません。教育現場に対する刑事権力の不当な介入をわたしたちは許すことはできません。

わたしたちは、不当な弾圧をはねかえすことで、教育現場に自由を取り戻していきたいと考えます。藤田さんを逮捕させず、藤田さんへの捜査を一刻も早く止めさせるための署名にご協力ください。

都立板橋高校元教員藤田勝久さんへの不当捜査を直ちに止めてください

氏名	住所	印

【署名送付先】 東京都豊島区西池袋 1-17-10 池袋プラザビル6階 城北法律事務所気付「藤田先生を応援する会」
TEL:03-3988-4866 FAX:03-3986-9018 〒171-0021 <担当弁護士 大山勇一>